

## 人はなぜ依存して、どのように回復するのか

医療法人耕仁会 札幌太田病院  
精神科 山本 泰輔

個々の患者が治療を受けた結果は通常均一ではない。アルコール依存症について述べるならば、まったく同じ薬を内服して断酒会に参加している人たちの中に、長らく断酒できている人もいれば再飲酒を繰り返す人もいる。「依存症治療の成功に関連する要素は何か」という疑問を持ち、依存症患者の特性に関する疫学研究を行ったので、その研究で得られた知見を報告する。

依存の全容をより良く理解し有効な支援を行うためには、病院につながった後に提供される治療についてだけでなく、「なぜ依存するようになったか」を理解することが重要だと考える。

「人はなぜ依存するのか」という未だ解決されない疑問について、自己治療仮説と信頼障害仮説という2つの仮説から考える。

自己治療仮説とは、依存の本質は快楽の追求ではなく心理的苦痛の減少・緩和であるという仮説である。

信頼障害仮説とは、依存者は小児期逆境体験によって自身や他人を信頼できず自己の感情調節やストレス対処を依存に求めるという仮説である。

最後に「人は依存からどのように回復するのか」を2つの仮説の立場から考えたい。